



～京都大学環境報告書2012より～

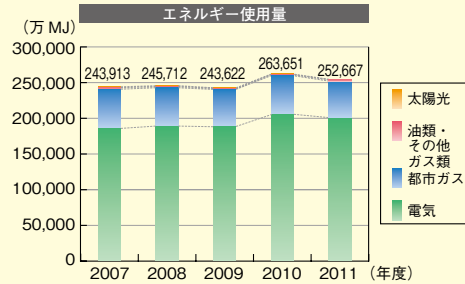


年間を通じた節電の取組により、さらなる省エネ・省CO₂を!

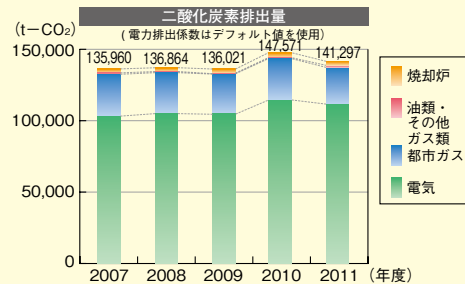
2011年度はエネルギー使用量・CO₂排出量ともに前年比では削減することが出来ましたが、過去5年間では

エネルギー使用量は3.6%・CO₂排出量は3.9%増加しています。

2012年度も引き続き、省エネ・省CO₂に御理解・御協力をお願い致します。



前年比 **4.2%減**
過去5年間では **3.6%増**



前年比 **4.3%減**
過去5年間では **3.9%増**

まず教職員から意識改革を!

まず、これまで全学的に節電目標を実現するため、創意工夫をして様々な取組を実施していただいたことに感謝したい。

ここで皆さんに御理解いただきたいのだが、私自身、京都大学として節電を含めた省エネ・省CO₂に取り組むからと言って、京都大学の教育研究診療活動の低下を招くようなことは、絶対に避けるべきだと考えていることである。

私が皆さんに対して再認識をお願いしたいのは、無駄に使っているエネルギーに費やされるコストが、京都大学の教育研究診療活動の発展を阻害している事実のことである。

授業に行く際や外出時、部屋の照明・エアコンの電源・パソコンの電源は切られているだろうか? ささいなことだと思われるかもしれないが、その積み重ねが大切であり、またその考え方を学生に伝えていっていただきたいと、私は切に願っている。



京都大学総長 松本 紘